

「特定秘密保護法」に反対する諸団体による緊急記者会見への賛同メッセージ

2014年6月20日

秘密保全法に反対する愛知の会

共同代表 本 秀紀

同 中谷雄二

TEL 052-953-8052 FAX 052-953-8050

本日の「特定秘密保護法」に反対する諸団体による緊急記者会見に寄せて、「秘密保全法に反対する愛知の会」からも賛同のメッセージをお送りします。

秘密法に対する様々なカッコつきの「監視」制度が提案されるのを見るにつけ、その中身が行政機関に対する何らの歯止めにもなっていないことに呆れ、また審議経過に対する徹底した秘密主義ぶりに怒りを覚えます。情報保全諮問会議は、実質的な審議を官僚の主導のもと水面下で行っており、国会法の改正で設置されようとしている情報監視審査会は、行政機関が拒否すれば情報の提供を受けられず、審査の適正さを事後的にチェックする余地すらないという体たらくです。今行われようとしている国会法改正は、秘密法の危険性を何ら減ずるものではありません。根本的な問題を抱える秘密法は、廃止するしかありません。この度、野党や無所属議員らが秘密保護法廃止法案を共同提出したことを、当会としても心から歓迎します。何としても秘密法を廃止しましょう。

ところで、現在、安倍政権は、国会法改正など重大法案とともに集団的自衛権行使容認をも暴力的に推し進めようとしています。集団的自衛権は、日米が軍事的に一体化し、日本がアメリカの戦争に積極的に組み込まれていく仕組みの一つであり、秘密法と向かう先は同じです。当会は、2012年の結成当初から、秘密法を戦争国家作りの一環としてとらえて反対してきました。本日20日も、午後6時30分から、名古屋では「戦争をさせないために～集団的自衛権と秘密保護法に反対する大集会&デモ」を開催します。

最後になりますが、今年1月に発足した「秘密法に反対する全国ネットワーク」が、今月も参加団体が増えて現在59団体にのぼっていること、来月7月5日・6日には第2回となる全国交流集会を大阪で開催することをご紹介します。全国それぞれの地域で、秘密法の廃止を求める取り組みが広がっています。

私たち市民から自由と民主主義を奪い、戦争に引きずり込む横暴な政権を絶対に許すことはできません。一緒にがんばっていきましょう。

以上